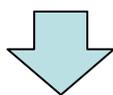


# 『重点戦略』策定の背景・ポイントについて

## 策定の背景

- 県の活性化のために、観光振興や企業立地の促進などによる経済活性化・税財政基盤の確立が不可欠。
- しかし、奈良への観光入り込み客数や法人2税は伸び悩んでいる状況。



道路の現状は・・・

- 県土の骨格となる主要な幹線道路の整備が道半ばであることから、通過交通が生活道路に流入し、幹線道路から生活道路まで様々な問題が山積
- 計画的なまちづくりや企業立地・観光振興などによる県の活性化に支障

### ○ 幹線道路ネットワークが未完成

奈良県は幹線道路ネットワークの整備が遅れています！

〔参考〕京奈和自動車道の供用率 34% / 高規格幹線道路供用率全国平均 68% (平成20年度末見込み)

### ○ 慢性的な渋滞

現在も、大和平野地域を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

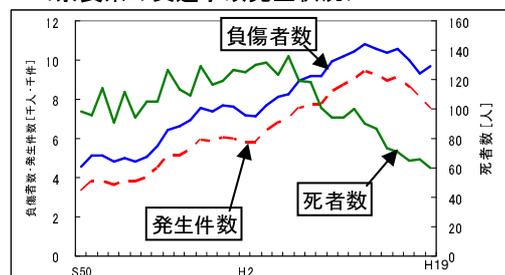
<国道24号(奈良市)の渋滞状況>



### ○ 依然高い水準の交通事故

死傷者数は減少傾向にあるものの、発生件数、負傷者数は依然高い水準で推移しています。

<奈良県の交通事故発生状況>

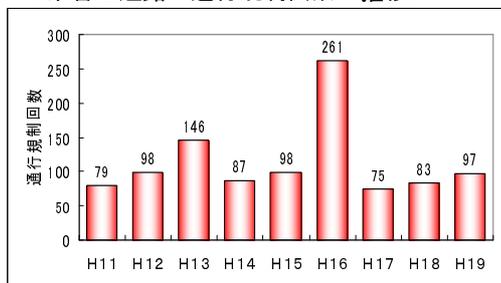


### ○ 安全・安心なアクセス機能を確保する上で問題のある道路網

中山間地域を中心に、豪雨や土砂崩れなどによる通行止めが頻発しています。

自動車同士のすれ違いが困難な箇所が数多く残されています。

<県管理道路の通行規制回数の推移>



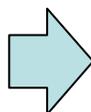
注)異常気象時(豪雨等)における雨量事前通行規制回数を含む。



また、今後の財政収支見通しから、一層の厳しい財政運営が必要です。



『選択と集中』などによる効率的・効果的な事業展開が必要！



『奈良の今後5カ年の道づくり重点戦略』を策定！

## 重点戦略のポイント

### 『選択と集中』による効率的・効果的な事業展開を目指します！

#### ○「供用目標宣言路線」、「重点整備宣言箇所」への『選択と集中』

奈良県の活力を牽引する幹線道路ネットワークの早期形成を目指し、『京奈和自動車道の主要なアクセス道路の供用目標や、重点的に整備を進める箇所を選定・宣言し、集中投資』を図ります！

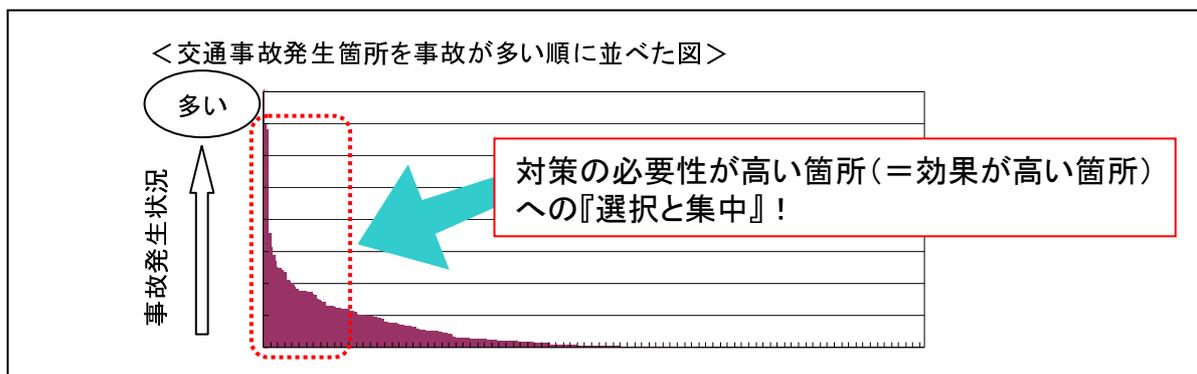
#### ○客観的データを踏まえた効果の高い箇所への『選択と集中』

交通安全や渋滞対策においては、客観的なデータを重視した上で、利用者の視点も加味し、効果の高い箇所への『選択と集中』を図ります！

#### ○日常生活や災害時における命の道として、安全・安心な交通機能の早期確保に向けた『選択と集中』

中山間地域において、災害に脆弱であるにも関わらず、迂回路もなく、自動車同士のすれ違いが困難な箇所があり、安全・安心なアクセス機能を確認する上で信頼性に課題がある箇所の早期解消に向けた『選択と集中』を図ります！

(参考)交通安全対策における『選択と集中』のイメージ



#### その他

- 透明性の確保・県民とのコミュニケーションの強化
- コスト縮減を徹底するための取組みの強化
- ソフト施策などの取組みの強化

などを目指します！